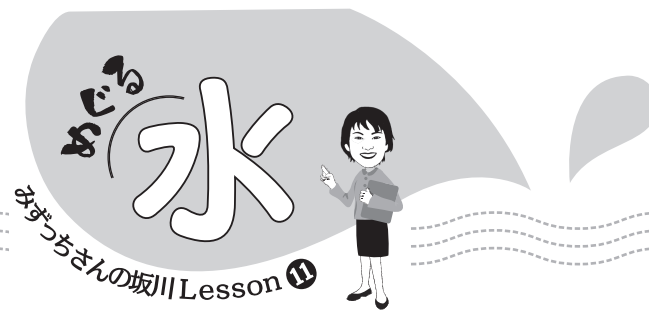
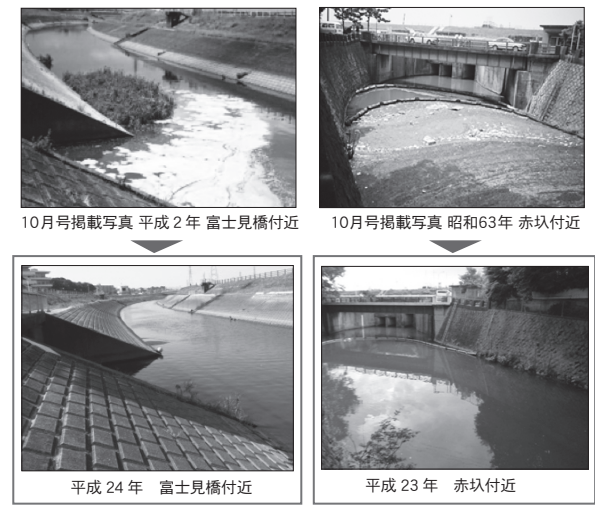


みずっちさん●水田泰子
平成6年国土交通省関東地方整備局入省。江戸川河川事務所調査課水質調査係長。坂川に関する出前環境講座も依頼があれば行っている。3人の子供の母親の視点からも水について考える日々。松戸市在住。



川の源の話 よみがえった坂川

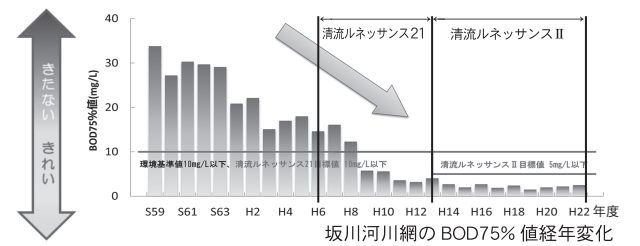
坂川の水質が一気に改善！



いかがでしょう！
様々な清流ルネッサンスの取り組みにより、一気に坂川の水質改善が進みました！！
BOD（水の汚れを表す指標）の経年変化をご覧ください。水質が瞬く間に改善されたことが数字にも表れています。みんなで力を合わせるともったいエネルギーとなるのです。

一方、写真やグラフでは感じ取ってもらえないのが「臭い」です。坂川に関して、みなさんは「臭いがしなくなっ」と、一番に言ってくれます。私も本当にそう思います。だって現地調査で息を止めることがなくなりましたから。「清流ルネッサンスⅡ江戸川・坂川」は、平成22年度を目標に活動してきました。その評価を平成23年度に行い、目的を十分に果たしたということ、実は終了しました。

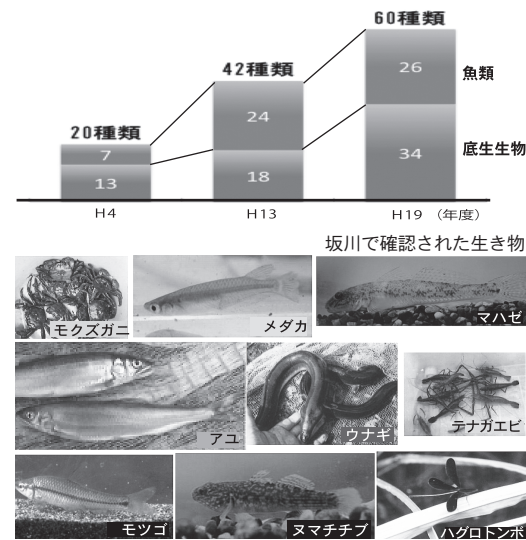
しかし、安心して下さい。平成24年度からは、規模は縮小されましたが「清流ルネッサンス江戸川・坂川 連絡会」として、引き続き江戸川・坂川の水質改善、維持に取り組んでいます。



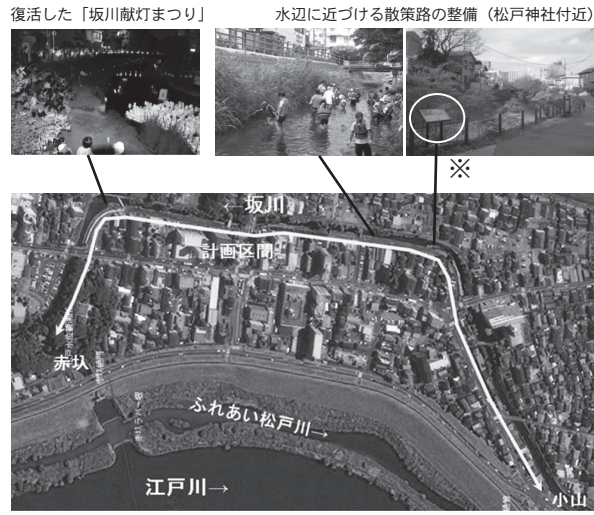
坂川がきれいになり、なんと坂川で「鮎」が見られるように！

川がきれいになって喜ぶのは人間だけではなく、魚も！川がきれいになると比例して、魚などの種類が一気に増えました。川がきれいになって、人が川に近づき、親しみやすい空間を整備しました。松戸駅近くの坂川（小

坂川（国管理区間）の生物種数の変化

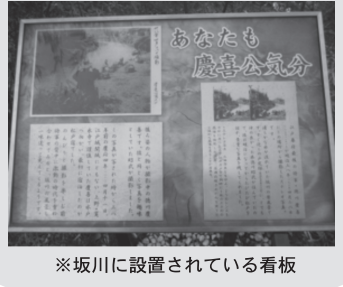


山く赤坂間）は、かつては水際に近づくことすらできませんでしたが、今では、市街地内にありながら水や生き物に触れ合える貴重な親水空間に生まれ変わっています（千葉県「坂川河川再生事業」）。また、平成18年には、しばらく開催されていなかった「坂川献灯まつり」が復活しました。他にも坂川に近づけるような整備やイベントがたくさん行われています。いろいろ紹介してきましたが、「坂川の水をきれいにしたい！」という強い思いで坂川はよみがえったのです。



■国土交通省管理の坂川区間は、流山市野々下～松戸市新松戸6丁目（新松戸西小学校の辺り）までです。

JR 常磐線を挟んで坂川と反対側に「戸定邸」があります。これは、水戸藩最後（11代）の藩主徳川昭武が造った別邸で、生活の場として使われました。明治30年頃には、実兄である江戸幕府最後の将軍（15代）徳川慶喜が何度か訪れ、昭武とともに趣味の写真撮影を楽しんだそうです。その頃の貴重な坂川の写真も残されています。坂川にも看板が設置されています（※）。昔の坂川に思いを馳しながら戸定邸から坂川散歩するのもいいですね。



※坂川に設置されている看板

暮らしの情報誌 (2015年2月1日 No.428)

月刊新松戸

「新松戸光のフェスタ」第1回写真展
入賞作品発表!

「若沖と蕪村」展
招待券プレゼント



本誌は読者のご協力により皆様にお届けしています

東京新聞の専売特許